

今後の委員会の進め方について

1 委員会の目的の再確認

人口減少傾向に歯止めが利かない状況の中、買物環境や生活交通の課題、中山間地域の集落機能や子育て環境の維持、雇用機会減退につながる悪循環など、人口減少社会が抱える様々な問題がこれまでも増して深刻化していることを背景に、本県の将来を左右する重要な課題として調査検討を行うことを目的に、令和5年6月に設置。

また、令和6年7月に以下の分科会を設置し、それぞれで調査・研究を実施。

①人口減少定常化分科会

人口減少の進行を緩やかにし、将来的に持続可能な形で安定させることに向けた方向性を調査・研究する。

②人口減少社会強靱化分科会

人口減少が進行する中で、持続可能な地域社会を構築することに向けた方向性を調査・研究する。

2 各分科会の方向性の再確認

①人口減少定常化分科会

鳥取県の人口の自然増減について、出生率の向上・出生数の向上にむけて、現状の課題を整理し、今後の方向性を検討する。

鳥取県の人口の社会増減について、県外流出の抑制とI・J・Uターンの促進に向けて、現状の課題を整理し、今後の方向性を検討する。

②人口減少社会強靱化分科会

人口減少は止められないという前提で、縮小しても持続可能な生活圏の再設計に向けて、現状の課題を整理し、今後の方向性を検討する。

3 今後の委員会の進め方（案）

知事に対して、本県の人口減少問題に関する、喫緊に取り組むべき重点施策、中長期的な視点に立った政策の方向性などを示す提言を行うことを前提として、以下のとおり取り組む。スケジュールの目標は別添1-2に記載のとおり。

- ・これまでの各分科会での調査・研究を基にした課題の整理
- ・これまでの県の取組の整理
- ・目指すべき方向性と目標の設定
- ・対応策の検討
- ・先進的取組の確認
- ・政策提言案の文案調整